

横浜国立大学 大学院先進実践学環
修士学位論文に係る評価基準

1. 学位論文に係る評価基準

- 専門知識の理解度
当該研究領域における関連研究の現状や研究テーマに関連する専門知識を理解していること。
- 研究方法の妥当性
課題の設定およびそれを解決するための方法論の選択や、仮説構築・検証方法などは妥当であること。
- 研究成果の独創性
関連研究と比較して、新規性があり、当該分野の発展に貢献する研究成果が得られていること。
- 論文の構成・表現の適切性
上記3点を第三者が適切に評価できるように論文が構成されており、適切に表現されているか

2. 審査委員会の体制

学環の修士論文の審査と最終試験は、学位論文を提出した当該学生の責任指導教員と副指導教員を含めた3名以上で行う。

学位論文審査委員会の委員構成は学位規則12条の定めるところによる。

3. 審査方法

修士論文の審査と最終試験により評価判定を行う。